

## 4. キャップ制（履修制限制度）

大学設置基準では、「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めなければならない」と規定されています。

本学では、単位の実質化を図るとともに、各年次にわたって適切に履修することで学修の質を向上させることを目的とし、『**キャップ制**』を導入しています。キャップ制とは、**1学期で履修できる単位数の上限を設定する制度**です。

大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学修する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成することになっています。また、これを基礎とし、授業期間は年間およそ30週、約30単位を修得することが標準とされ、大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されています。通常の授業科目は15週間で実施されますので、1単位の授業科目は、毎週3時間の学修を必要とする内容をもって構成されます。

例えば、1学期で20単位を履修したとすると、毎週 $20 \times 3 = 60$ 時間学修することになります。週60時間ということは、月曜日から土曜日までの6日間毎日10時間学修することになります。実際には、いわゆる『単位時間』で計算しますので、1日あたり7.5時間学修することになります。

## 5. 科目ナンバリングについて

本学では**科目ナンバリング**を導入しています。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けになります。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**段階を表す番号**」の組み合わせで表します。

(例) POL-100

番 号…科目の段階（表2参照）

科目分類…科目名称の略称

(例) POL : Politics (政治学) の略 (表1参照)

科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されています。

表1 科目分類

分類	略称	英語名称	分類	略称	英語名称
キリスト教学	CHR	Christian Studies	情報学基礎理論	THI	Theory of informatics
初年次教育	FYE	First Year Experience	ソフトウェア	SOF	Software
英語	ENG	English	計算機システム	COS	Computer system
ドイツ語	GER	German	情報ネットワーク	INN	Information network
フランス語	FRE	French	図書館情報学・人文社会情報学	LIH	Library and information science/ Humanistic social informatics
スペイン語	SPA	Spanish	環境学	EAE	Environmental science
イタリア語	ITA	Italian	デザイン学	DES	Design science
中国語	CHI	Chinese	衣・住生活学	CLD	Clothing life/Dwelling life
韓国語	KOR	Korean	食生活学	EAH	Eating habits
日本語	JAP	Japanese	科学社会学 科学技術史	SHS	Sociology/History of science and technology
芸術一般	ARL	Art at large	経済史	ECH	Economic history
日本文学	JLT	Japanese literature	経営学	MAN	Management

分類	略称	英語名称	分類	略称	英語名称
美術史	FAH	Fine art history	商学	CME	Commerce
日本文学	JLT	Japanese literature	会計学	ACC	Accounting
英米・英語圏文学	LIE	Literature in English	社会学	SOC	Sociology
ヨーロッパ文学	EUL	European literature	社会福祉学	SWS	Social welfare and social work studies
中国文学	CHL	Chinese literature	心理学	PSY	Psychology
文学一般	LIG	Literature in general	社会心理学	SOP	Social psychology
言語学	LIN	Linguistics	教育心理学	EDP	Educational psychology
日本語学	JLN	Japanese linguistics	臨床心理学	CLI	Clinical psychology
英語学	ENL	English linguistics	史学一般	HSG	Historical studies in general
日本語教育	JLE	Japanese language education	日本史	JPH	Japanese history
外国語教育	FLE	Foreign language education	アジア史・アフリカ史	HAA	History of Asia and Africa
応用健康科学	AHS	Applied health science	ヨーロッパ史・アメリカ史	HEA	History of Europe and America
子ども学 (子ども環境学)	CHS	Childhood science (childhood environment science)	文化人類学・民俗学	CUA	Cultural anthropology
地域研究	ARS	Area studies	基礎法学	FUL	Fundamental law
ジェンダー	GDE	Gender	公法学	PUL	Public law
観光学	TOS	Tourism studies	国際法学	ILA	International law
哲学・倫理学	PHE	Philosophy/Ethics	社会法学	SOL	Social law
宗教学	RES	Religious studies	実験心理学	EXP	Experimental psychology
思想史	HIT	History of thought	教育学	EDU	Education
美学・芸術諸学	ASA	Aesthetics and studies on art	教育社会学	SOE	Sociology of education
民事法学	CIL	Civil law	教科教育学	ESS	Education on school subjects and activities
新領域法学	NFL	New fields of law	特別支援教育	SNE	Special needs education
政治学	POL	Politics	数学	MAT	Mathematics
国際関係論	INR	International relations	人体病理学	HUP	Human pathology
経済学	ECO	Economics	医療社会学	MSO	Medical sociology
理論経済学	ECT	Economic theory	衛生学・公衆衛生学	HPH	Hygiene and public health
経済学説・経済思想	EDE	Economic doctrine / Economic thought	コミュニケーション研究	CST	Communication Studies
経済統計	ECS	Economic statistics	ゼミナール	SEM	Seminar
経済政策	ECP	Economic policy	卒業論文	THE	Thesis
財政・公共経済	PFP	Public finance/Public economy	インディペンデントスタディ	IND	Independent Study
金融・ファイナンス	MOF	Money/Finance	海外研修	STA	Study Abroad
中国哲学・印度哲学・仏教学	CIB	Chinese philosophy/Indian philosophy/Buddhist studies			

表2 科目の段階

000番台	入学前レベル	大学入学前に修得すべき内容の科目
100番台	入門レベル	個々の学問領域における基礎的知識の習得ならびに幅広い視野を得ることを目的とした科目
200番台	基礎レベル	個々の学問領域における基礎的知識の習得に焦点をあてた科目
300番台	応用レベル	個々の学問領域における基礎的知識を活用し、より高度な専門的能力の獲得と運用に焦点をあてた科目
400番台	卒業研究レベル 修士基礎レベル	自ら設定した課題に対し、専門的知識と能力を活用し、アプローチしていくことに焦点があてられた科目
500番台	修士応用レベル	大学院修士課程レベルの科目